

2019—2020 Calendar

日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
4 2019 April	5 May	6 June
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 July	8 August	9 September
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
10 October	11 November	12 December
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1 2020 January	2 February	3 March
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

■ 企画展・コレクション展開催 ■ コレクション展のみ開催 ■ 休館日

Stamp Rally

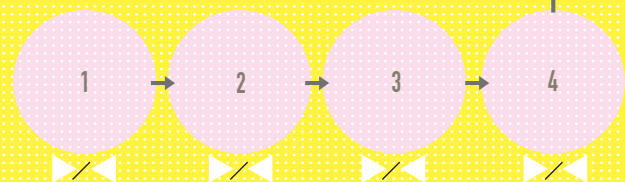
栃木県立美術館 スタンプラリー

大人も参加できます！

STEP 1 受付でこの台紙にスタンプを押してもらいます。
STEP 2 スタンプを5個集めると素敵なプレゼントがもらえます。

ルール：

- * 本人のみ有効（高校生以上は有料入館者のみ）
- * 企画展・コレクション展どちらも対象です。
同じ展覧会でも来た回数だけスタンプがもらえます。
（企画展、コレクション展両方観れば、スタンプが2個
もらえます）
- * 初回受付日（はじめにスタンプを押した日）より1年間有効。
年度が切替わった場合は、古い展覧会スケジュールをお持ち
ください。スタンプを移行します。



- 観覧時間
午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
- 休館日
月曜日（祝日、振替休日は開館して火曜休館。第73回栃木県芸術祭美術展会期中を除く）、展示替期間、年末年始
- 無料日
6月8日（土）、9日（日）、15日（土）（県民の日）、
11月3日（日）（文化の日）
- 美術館友の会
会員証の提示により展覧会が年4回まで観覧できます。会報の送付や図録の割引等の特典があります。（入会は正面受付にて随時）
- 交通案内
JR宇都宮駅、東武宇都宮駅から関東バス作新学院・駒生行にて
桜通十文字（足利銀行本店前）下車 徒歩5分
- Museum Hours
9:30—17:00 (last admission 16:30)
Closed on Mondays
- Admission Free Days
On 8, 9 and 15 June, 3 November

*M割（ミュージアム割引）
一般または、団体料金で6ヶ月以内に購入した栃木県立美術館もしくは栃木県博物館協会のM割参加館の半券を窓口で提示してください。団体割引でご覧いただけます。

*観覧料の免除
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその手帳に第1種または第1級と記載のある方の介護者1名の観覧料は無料となります。受付に手帳をご提示ください。

アートリンクとちぎ2019

当館所蔵品による展覧会が
県内の会場で開催されます。

「創る女たち」展
2019年10月19日（土）-12月15日（日）
佐野市立吉澤記念美術館

「野澤一郎が愛した美術」展
2020年1月23日（木）-2月3日（月）
真岡市久保記念観光文化交流館

伊東直子マイセン磁器コレクション

マイセン磁器展示室では、18世紀から20世紀までの日本有数のコレクション約100点を、年4回の展示替えて紹介します。



《色絵ポプリ壺付群像「慈愛の高意」》
18世紀中頃
撮影：西村義次



Exhibitions Schedule

栃木県立美術館 2019—2020



■企画展

画中のよそおい

Fashion in Images

4月20日[土] – 6月16日[日]

古今東西、人は自らのよそおいに工夫を凝らし、楽しんできました。美術作品の中に描かれた人物たちも、当時の社会経済や文化を映し出す様々なよそおいに身を包んでいます。本展では、イギリスとフランスを主とした近代西洋から現代日本までの美術作品にあらわれたファッションについて、当館の所蔵品を中心に紹介します。さらに、画中の人々の服を着る・脱ぐ行為や、身体と服の関係性にも注目し、作品の中のファッションがつむぐ物語を紐解きます。



「化粧 (No. 5)」ラ・メザンジュール編『ボン・ジャンル』より
1827年刊 (1817年初版) 栃木県立美術館蔵

一般：800(700)円
大高生：500(400)円
中学生以下無料
()内は20名以上の団体料金
*6月8日(土)、9日(日)、15日(土)は県民の日開館で観覧料無料

とちぎ版文化プログラム
「リーディングプロジェクト事業」

絵を見ると、あなたは何を見ているの？

What do you see when you look at pictures?

6月29日[土] – 8月25日[日]

美しい色や形、人々が演ずるさまざまなドラマ、そして心休まる情景の数々。絵を見ることは私たちに大きな喜びをもたらします。それと同時に私たちは絵を見ながらさまざまなことを考えます。描かれた時代の背景や社会とのかかわりを思い、画家の差し出す謎に想像力を刺激されます。絵を見る私たちは、そこに何を求め、何を求めているのでしょうか。本展では絵画を中心に、作品と見る者との豊かなかかわりあいの多様なあり方を示し、より深く美術を楽しむきっかけとします。



ジョン・スローン《メトロポリタン美術館での模写》
1908年 栃木県立美術館蔵

一般：800(700)円
大高生：500(400)円
中学生以下無料
()内は20名以上の団体料金

第73回 栃木県芸術祭 美術展

73rd Tochigi-ken Art Festival, Fine Art Exhibition

第1期(書道・工芸)

9月7日[土] – 9月17日[火]

第2期(日本画・写真)

9月21日[土] – 10月1日[火]

第3期(洋画・彫刻)

10月5日[土] – 10月15日[火]

*会期中、休館日はありません

県内公募の入選・入賞作品を招待作品とともに展示します。

問い合わせ先

栃木県文化協会

宇都宮市本町1-8

(栃木県総合文化センター内)

電話 028-643-5288

9月30日まで

一般：250(200)円

大高生：120(100)円

中学生以下無料

消費税率引き上げに伴い、

10月1日から

一般：260(200)円

大高生：120(100)円

中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金

*9月15日 – 21日は老人週間関連で

65歳以上無料(要証明)

菊川京三の仕事

一『國華』に綴られた日本美術史

Works of KIKUKAWA Kyozo

11月2日[土] – 12月22日[日]

栃木県小山市で幼少期を過ごした菊川京三(1897-1985)は、現在も刊行が続く日本初の美術研究誌『國華』の挿絵画家として数多くのコロタイプ木版による複製図版を作成しました。生前に菊川京三本人から栃木県立美術館に寄贈された600点を超える複製図版・下絵を中心に、選りすぐった作品を約40年ぶりに公開します。國華社勤続60年に及んだ挿絵画家・菊川京三の仕事を一望する回顧展です。



菊川京三
《雪村作 観音祥宝塔図(部分)》
『國華』752号(1954年)掲載
栃木県立美術館蔵



菊川京三
《伊藤若冲作 葡萄双鶏図(部分)》
『國華』859号(1963年)掲載
栃木県立美術館蔵

一般：900(800)円
大高生：600(500)円
中学生以下無料
()内は20名以上の団体料金
*11月3日(日)[文化の日]は観覧料無料

山田耕筈と美術

YAMADA Koschak and Art

2020年1月11日[土] – 3月22日[日]

「からたちの花」や「待ちぼうけ」など、日本を代表する作曲家として、また指揮者として名高い山田耕筈(1886-1965)は、青年時代から音楽のみならず、舞踊や演劇、そして美術に大きな関心を抱き、さまざまな美術家たちとも交遊したことが知られています。本展は、山田耕筈の美術への関心と、美術家たちの



恩地孝四郎(装幀)
《日響楽譜「青い小島」》
山田耕作(曲) / 川路柳虹(詩)
1927年
個人蔵



恩地孝四郎(装幀)
《日響楽譜「紅魔船」》
山田耕作(曲) / 北原白秋(詩)
1928年
個人蔵

一般：1,000(900)円
大高生：600(500)円
中学生以下無料
()内は20名以上の団体料金

■コレクション展

所蔵品により、栃木県および国内外の近現代美術を中心とした作品を年4回の展示替えて紹介。

9月30日まで

一般：250(200)円

大高生：120(100)円

中学生以下無料

消費税率引き上げに伴い、

10月1日から

一般：260(200)円

大高生：120(100)円

中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金
企画展観覧券でコレクション展もご覧いただけます。

Collection 1



デイヴィッド・ホックニー
バリ・レビュー25周年
1981年
© David Hockney

コレクション展
D.ホックニーの
ポスター

4月13日[土] – 6月16日[日]

イギリス現代絵画の巨匠デイヴィッド・ホックニー(1937-)の傑作ポスターを紹介。

Collection 2



谷文晁
《那須眺望図》
1799年

コレクション展
風景から情景へ

6月29日[土] – 10月15日[火]

南画、日本画、水彩画、版画、油彩画の対象として描かれてきた「風景」。そこに込められた心の動きを見てとれば「情景」となることを紹介。

*会期中一部展示替えをします。

Collection 3



島岡達三
《瑠璃象嵌縄文皿》
1979年
撮影：乾 剛

コレクション展
特集
生誕100年
島岡達三

11月2日[土] – 12月22日[日]

濱田庄司に陶芸を学び、「縄文象嵌」の技法で重要無形文化財保持者(通称:人間国宝)に認定された島岡達三(1919-2007)の作品をまとめて紹介。

Collection 4



渡辺豊重《かたち》1964年

コレクション展
特集 渡辺豊重

2020年1月11日[土] – 3月29日[日]

那珂川町ゆかりの美術家・渡辺豊重(1931-)の芸術世界を新収蔵作品とともに紹介。